

事務事業評価

平成 23 年度

担当グループ 文化・スポーツ振興グループ

基本事項	事務事業名	長崎県民体育大会役員選手派遣費補助金					整理番号	0303		
	根拠法令等						実施を義務付ける規定	○あり ●なし		
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第7章 生きる力と創造力を持った人を育てる	▼	予算目	2	款 7	項 2	目	◎継続 ○新規	
		節 第6節 スポーツの充実	▼	事業区	助成・育成					▼
事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	この大会は、毎年11月第2土曜日及びそれに続く日曜日に長崎地区・佐世保地区・諫早地区の順で持ち回りで開催され、今回が第63回目の大会となる。陸上競技を始めとして42競技で各市町村の代表として参加し、競技力の向上・発展をはかる。					計画期間	始期	昭和	年から
	事業の対象及び目的 (誰に、何を、どのような状態にしたいのか)	市民に広くスポーツに親してもらい、その普及発展と競技力向上を図り、併せて県民の健康を増進し、明朗な県民性を養うことを目的とする。								
	目的達成のための手段・方法	市民に県民体育大会の趣旨を理解してもらい、県民体育大会出場を一つの目標と位置付け、スポーツを通しての健康促進も併せて互いに切磋琢磨し、数多くの市民が参加しやすいようにするため大会会場までの交通費相当を補助する。								
	成果指標 (意図する状態の達成度を図るものさし)	名称等(内容)					単位	21年度	22年度	23年度
		①派遣者数 県体総参加者数 7,649名					目標	560	560	560
	活動指標 (意図する状態達成のために実施する活動等)	①					実績	497	482	490
②					達成率	%	88.8	86.1	87.5	
事業費等の推移	年度		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度		
	区分		実績値	実績値	実績値	実績値	予算	計画		
①直接事業費(千円)		2,776	3,908	1,890	2,739	4,655	2,734			
財源内訳	国県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源		2,776	3,908	1,890	2,739	4,655	2,734		
②従事職員給与費 b1×b2		431	429	430	430	434	437			
従事職員数(人) b1		0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06			
職員平均人件費 b2		7,179	7,153	7,162	7,168	7,236	7,277			
事業費合計 ① + ②		3,207	4,337	2,320	3,169	5,089	3,171			

【1次評価】

◎事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
目的 妥当性	①住民ニーズの変化等により事業の必要性や役割は変わっていないか	A=変わっていない B=一部変わった C=変わった 従前から各都市対抗の競技大会として位置付け開催されており、各競技の競技力の向上や競技人口の拡大が図られている。	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に任せることはできないか	A=可能でない B=一部は可能 C=可能である 市費からの助成事業であり本設間には該当しない	
	③対象等は事業目的に見合っているか、拡大や絞込み必要はないか、見直しによる費用対効果の向上が図られないか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 D=適切ではない 市民全員が対象であり、特に見直す必要はない。	A
有効性	④事業の実施により初期の目的や目標がどの程度達成されているか	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 開催競技のすべてにおいて、選手・役員を派遣していないため、今後は、そういった競技の競技人口を拡大を推進し参加者を増やす。	B
	⑤成果の状況を踏まえ、手段等を工夫したり事業内容を見直すことで、成果をさらに向上させる余地はありませんか	A=十分成果が得られている B=検討の余地あり C=見直しが必要 現状では、十分な成果がえられている。	A
効率性	⑥活動量や成果を下げずにコストを縮減できないか、投入された資源量に見合う結果が得られているか、改善の余地はありませんか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 派遣費については、旅費相当額として電車・バス料金を支給し、後日精算している。	A
	⑦事業の効率性を上げるため、他の事業との統合や事務の省力化など見直す余地はありませんか	A=見直す余地はない B=統合等、検討の余地あり C=見直しが必要 他に統合できるような事業はない。	A
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はありませんか。	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 現状では、他市と同様な取り扱いで市が事務局を持って運営しているが、いずれは、体育協会運営することが望ましい。	B
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されていますか。全体コストから見て受益者の負担割合は適切か、使用料等の見直しの余地はありませんか。	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 参加者全員が助成対象であり、また経費の一部助成である	A
⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要			A
			判定評点平均 A=3、B=2、C=1、D=0として換算 2.78

◎総合評価

評価結果	<input checked="" type="radio"/> A 継続実施(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 改善・見直しを行う <input type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施などへの変更) <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定等を含む)	判断理由	県民体育大会の趣旨により、市民が参加しやすいような環境を作るため、他市の状況を踏まえながら検討する余地はある。
今後の課題及び改善策、見直しの状況	(実施上の課題等)		
<small>・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載ください。          ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載ください。</small>			

【2次評価】

総合判定	A 継続実施(特段の見直しは行わない)
備考	

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	△ 1,921 (千円)